

令和3年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
保育内容指導法・言葉				演習		水口 崇	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	1	30	15	後期	幼児: 選択必修 保育士: 選択		
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わうことを実践的に深く学ぶ。                      (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わうことを実践的に深く学ぶ。                      (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせることを深く学ぶ。</p>							
<p>〔授業全体の内容と概要〕</p> <p>領域「言葉」については、「子どもと言葉」と「保育内容指導法・言葉」が設定されている。「保育内容指導法・言葉」では、言葉の発達について理解した上で、具体的な保育場面を想定しながら、子どもの言葉の指導法について学ぶ。</p>							
<p>〔受講上の注意事項〕</p> <p>特になし</p>							
〔使用テキスト〕				〔評価基準〕			
幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説				授業に加え、自習によって知識・技能が高まっている。レポート(50%)と試験(50%)によって評価を行う。			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			科目の性格と位置づけ			
2	領域「言葉」とは			領域の説明			
3	言葉の発達			初語まで			
4	言葉の発達			二語文まで			
5	言葉の発達			二語文以降			
6	絵本とは			絵本の選定と練習			
7	絵本の読み聞かせ			発表			
8	育児放棄と言葉の発達			マタernalデブリーションの影響			
9	言語発達の障害			生物学的要因の影響			
10	第二言語の獲得			文化的環境の影響			
11	指導案の作成			作成の方法			
12	紙芝居とは			紙芝居の選定と練習			
13	紙芝居の読み聞かせ			発表(前半)			
14	紙芝居の読み聞かせ			発表(後半)			
15	まとめと試験			全体をまとめた後、試験を行う			
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							